



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ.K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会 日

1991. 12 . 25

累 計 No 251

当 年 No 26

会 長／山 上 茂 夫

幹 事／堀 川 正 幸

S A A／味 方 義 一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： ファミリークリスマスパーティー 於おゝ乃

出 席： 本日の出席 53名中46名

先週の出席率 53名中48名 90.57%

先週のメイクアップ： 12月19日 新潟西RCへ 山上茂夫君

22日 次年度分区代理会議へ 梨本清一君

24日 北RC記帳 山上茂夫君 中条耕二君

ビ ジ タ ー： 加茂RCより 高橋和敏君（24日）

三条RCより 五十嵐晋三君 松谷晃吉君 大谷幸平君 堀川政雄君

加藤紋次郎君 伊藤広一君（24日）

会 長 挨 拶： 山上茂夫

皆さん今日は!! 今日こんな楽しい夜をセッティングしていただき有難うございます。もう
昨晚のうちにX'マスパーティーを済ませた方もいらっしゃると思いますが、2日続きのクリスマ
スパティーです。親睦委員長さん、委員の皆さん、関係された会員の皆さん御苦労様でした。

今夜は当クラブとしては1986年の12月14日だと思いますが、誕生したこともあり、5年目のパー
ティーでもあります。

今日は子供さんもいらっしゃいますので、一寸お話を聞いて戴きたいと思います。昔話を一つ。
[貧しいけれど心の優しい人がいました。その人は小さな小屋に住んでいました。ある晩1日の厳
しい仕事から帰って来ると、外は間もなくひどい吹雪となりました。彼は火をおこして体を温めよ
うとしたとき、突然トントンと戸を叩く音がしました。道に迷った人が宿を求めてきました。[ど
うぞお入り下さい。こんな小さな小屋ですが……]と彼は言いました。その時また1人の人が道に
迷ってドアをノックしました。彼は[どうぞ]と言って[2人にはベッドで寝ていただき、私は床
に寝ますから]と言いました。暫くするとまたまたノックの音がしました。[みんなで詰め合っ
て寝ましょう。そうすれば温まりますから]とまた3人目も招き入れました。ところが4人目にノッ

クされたときも「みんなで小屋の中に立っていても、1晩位なら楽しく過ごせますよ。」とまた小屋に招き入れました。5度目の人が来たとき小屋はすし詰め。彼は「この吹き降りに隠れた場所をくれた神様に感謝しましょう」と言いました。6番目にノックされた時、彼は「どうぞ」と言ったら小屋の外へ出ようとしてしました。その瞬間小屋が突然広くなり光り輝きました。その人は神様の化身だったのです。

奉仕についても同じです。奉仕とは愛の実践だからです

私達はこんなに幸せで楽しい夜を過しています。少しでも自分を超えて、恵まれない人々の為に奉仕が出来たらと思います。

こんな機会に恵まれた自分に感謝し、会員の皆さんに感謝し、ロータリークラブに感謝したいと思います。

そこで出来る範囲で社会福祉の為に、そういう趣旨で寄附をしたいと思いますのでのち程よろしくお願い致します。

ところで先程のお話は「ロータリーの友12月号」サプー会長の「心にゆとりがあれば」からです。どうも有難うございました。

幹事報告： 堀川幹事

◇三条ロイヤルホテル様よりお歳暮を頂戴いたしました。

ニコニコボックス：

佐藤広一君（三条RC）この一年大変お世話になりました。どうぞ皆様には佳き年をお迎え下さい。



1月7日例会： 新春賀詞交換会 テーブルトーク

“新春の抱負を各テーブル毎に話し合う”（飲物付）

1月14日例会：